

第2回昇段審査会受験要綱案内

富山県柔道連盟会長

下記により令和7年度第2回昇段審査会（初段～五段）を実施いたしますので周知徹底の上、御配慮の程よろしくお願い致します。所属毎に受験者を(最新)昇段審査会申込一覧(Excel)に入力し、申込用紙もPDFファイル等に変換して、所属毎にまとめて申込一覧・申込用紙をE-Mailにて送付願います。また、申込用紙（原本）は昇段審査会当日にご提出願います。

記

1. 期日・時間・場所・試験

8月31日（日） 開館午前9時 準備後 受付 受付終了後 開会式・試験
アイシン武道館 〒934-0039 富山県射水市久々湊 467 TEL0766-82-8277

2. 申込方法・申込先・申込期日

- 1) 申し込み用紙に記入の上(8月25日)までに下記宛に申し込んで下さい。
- 2) 申し込み用紙の記入欄に全日本柔道連盟会員登録番号を必ず記載して下さい。学校に柔道部の無い中学生・高校生及び一般は各地区の審議部長へ問い合わせ下さい。
- 3) 弐段以上の受験者は講道館番号(段証書に付いているカードに記載)が必要ですので記載して下さい。紛失した場合は講道館 審議部 TEL：03-3811-7153～7154に問い合わせ下さい。弐段以上の受験者で前段の氏名の字を変えたい時(例・渡辺→渡邊)、家庭の事情などで苗字が変わった時は戸籍抄本、運転免許証、保険証等、変わったことが分かる書類を添付して下さい。
- 4) 昇段審査会申込一覧に各段男女別に入力をしてE-Mailで送付して下さい。

申込先 〒939-1335 砺波市鷹栖 285-1 富山県立砺波工業高校 立浪 祐 宛

E-mail : tachinami-yu@ed.pref.toyama.jp

Tel : 0763-33-2047(砺波工業高校)

申込期日 **8月25日**を厳守して下さい。

傷害保険登録、試合組み合わせ表作成の為、原則締め切り後の申し込みは受け付けません。

3. 付 記

- 1) 受験料は、初段(1,500円)弐段(2,000円)参段(2,500円)四段(3,000円)五段(3,500円)です。受験料に傷害保険料(200円)が含まれます。審査会参加者全員が傷害保険に加入いたしますので形の相手のみの者も形の相手蘭に住所、名前、生年月日、性別、年齢を書き入れ受験当日に傷害保険(200円)を受付へ納入して下さい。締切日以降に申し込まれても傷害保険の手続きが終わっていますので、無保険のまま受験、形の相手をするようになります。但し受験者、形の相手の者は大会開催費用として200円は徴収致します。

当日欠席されても申し込み時に保険手続きが済んでいますので他の出席者に託けるなどして、必ず200円の納入して下さい。 当日負傷した場合は直ちに審査委員に申し出て下さい。

- 2) 昇段料は、初段、(23,200円)、弐段(23,600円)、参段(26,500円)、四段(34,400円)、五段(55,800円)です。

- 3) 中学生は、富山県柔道連盟主催の一級試験に合格後に受験できます。(形のみの受験可)

- 4) 弐段以上の受験者は、現段位昇段後 弐段に1.5年以上、参段に2年以上、四段に3年以上、五段に4年以上の経過年数が必要ですので正確な年数の確認をする事。
- 5) 評価する形、男・女共、初段「投の形」のうち手技・腰技・足技、弐段は「投の形」、参段は「固の形」、四段は「柔の形」、五段は「極の形」を実施。
- 6) 申込書記載事項、14、過去の成績「形(形の合格の有効期間は2年間のため合否は2年以内もの)・実技の合否」・15、過去の審査会勝ち星欄の記載(受験年月日を正確に書き入れること)

【注】「形」の受験者は相手氏名を必ず記入して下さい。同一校に方の相手がいない場合を除いて、受験者同士で行う様にして下さい。

受験者は、後日必要事項不明などで連絡することが有りますので必ず連絡するとつながる連絡先(電話番号・携帯番号でも可)を記入のこと。

注意・・・受験日に無断で欠席する人があります、無断欠席者は次回の受験は出来ません

(連絡先・欠席の場合は立浪先生へ前日までに必ず連絡を願います。

当日の緊急連絡先・審議部長 向 健之輔 携帯 090-6271-4970 ショートメッセージでお願いします)

申込書は見本を参考し各欄もれなく正確に記載して下さい。記載漏れの申込書は書き直しの為返送致します。

1. 実技試験を免除の試合一覧 (本内規は平成24年4月1日より実施)

- ① 学生において全国大会個人予選大会(1、国体予選 2、全国学生優勝大会北信越予選 3、全国学生体重別選手権大会北信越予選)において男子はベスト4以上、女子は2位以上の成績を収めた者は実技試験を免除する。
- ② 一般受験者において(1、国体予選 2、全日本柔道選手権大会北信越予選)において男子はベスト4以上、女子は2位以上の成績を収めた者は実技試験を免除する。
但し各種別の受験者も形の免除は行わない。
上記①、②の該当者は申込用紙の実技試験を免除記載欄に記入すること。当日口頭で言われても受け付けられません。

2. 日本国籍を有しない受験者の取り扱い

- ① 日本国籍を有しない受験者は原則として一年以上日本に在籍して修行していることを受験の条件とする。(講道館内規による。)
- ② 受験申し込みのときに出身地の国籍を受験申込書(6) 本籍(都道府県)の欄へ記載のこと。
- ③ 合格者は入門願書のほかに講道館へ提出する推薦書を添付しなければならない。推薦書には試合結果を記載しなければならないので昇段審査会以外に出た試合の結果を記載した用紙を別に付けてください。

3. 苗字の字の変更手続きについて

- ① 初段受験者は自分の氏名に使う漢字を正確に(戸籍謄本に載っている漢字)書いてください。
最初に申し込んだ名前が講道館台帳へ登録されます。

※ PCで出ない字は一般的な字で代用せず、必ず正しい字を手書きしてください。

「高」と「髙」、「崎」と「崎」、「吉」(上が「士」か「土」か)、「辺」「邊」「邊」、「斉」「齋」「齊」「齋」などの異体字、旧体字、略字が使われることが多い名前は、必ず本人に確認してから書類を作成してください。

- ② 上記の理由により、弐段以上の受験者で自分の名前(苗字)の漢字を変更したい者は昇段申請時に、現在の自分の名前、漢字を確認出来る 住民票、戸籍抄本、運転免許書、学生証、保険証等のコピーを添付しその旨を申し出ること。

4. 形の受験は学校に受験者がいない等の特別な事情がない限り極力受験者同士で組んで受験してください。